

## ネイティブポテト アピラーゼ

Cat. No. NATE-0085

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** アピラーゼはすべての真核生物および一部の原核生物に存在します。ジャガイモ由来のアピラーゼは、成長と発達の調節において重要な役割を果たします。アピラーゼは、神経刺激に続いて神経伝達物質としてのATPの不活性化や、血栓症を防ぐためのADP誘発性血小板凝集の抑制に関与しています。活性には二価金属イオンが必要で、最も良い活性は5 mMのカルシウムイオンで観察されます。

**用途** 少なくとも2つのアイソザイムが*S. tuberosum*の異なる品種に見られます: 4,5 一つは高いATPase/ADPase比（約10）を持ち、もう一つは低い比（約1）を持っています。反応:  $\text{ATP} \rightarrow \text{ADP} + \text{Pi} \rightarrow \text{AMP} + 2\text{Pi}$ 。アピラーゼはスクレオシド三リン酸および二リン酸を加水分解するために使用されます。有機二リン酸および三リン酸の加水分解における最適pHは6であり、無機基質の場合の最適pHは5.1です。Creative Enzymesのアピラーゼは、血小板凝集の抑制研究に使用されています。

**別名** ATP-二リン酸加水分解酵素; アデノシン二リン酸加水分解酵素; ADPase; ATP二リン酸加水分解酵素; アピラーゼ; EC 3.6.1.5; 9000-95-7

### 製品情報

|         |                                                                |
|---------|----------------------------------------------------------------|
| 由来      | ジャガイモ                                                          |
| 形態      | 凍結乾燥粉末。部分的に精製された、凍結乾燥粉末で、コハク酸カリウムバッファー塩を含んでいます。                |
| EC番号    | EC 3.6.1.5                                                     |
| CAS登録番号 | 9000-95-7                                                      |
| 活性      | > 200単位/mgタンパク質; > 600単位/mgタンパク質                               |
| 緩衝液     | H2O: 可溶性 1.0 mg/mL                                             |
| 代謝経路    | プリン代謝、特定生物のバイオシステム; ピリミジン代謝、特定生物のバイオシステム; ピリミジン代謝、保存されたバイオシステム |
| 単位定義    | 1ユニットは、30°CでpH 6.5の条件下で、ATPまたはADPから1分あたり1.0μモルの無機リン酸を放出します。    |

### 保管・発送情報

保存方法 -20°C